

2014年度 前期				リフレクションペーパー			
学科名	生物環境化学科						
科目名	(教)理科教育法 I						
科目区分	教職科目		単位数	2	開講時期	2年前期	
必修・選択の別	選択科目(バイオサイエンスコース)/選択科目(食品生物資源コース)/選択科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	西田 哲明						
授業の到達目標 (シラバスから)	1. 理科の授業を効率的に進めることができる。 2. 「生徒の能力を引き出す」ことができる。 3. 理科教育の目的・目標について具体的に述べることができる。 4. 楽しい理科の授業を実践し、学習指導案が書ける。						
日程と内容	4/7 導入、授業形態、成績評価など 4/14 理科の授業で大切なこと 4/21 質量、重さ、体積の教え方 4/28 模擬授業 5/12 理科の授業の教え方 (タイプ) 5/19 理科実験のやりかた 6/2 模擬授業 6/9 理科の授業と実験 6/16 身の周りの理科 (中間試験含む) 6/23 模擬授業：実験と検証 6/30 学習指導案の書き方その 1 7/7 学習指導案の書き方その 2 7/14 理科教育の目的 7/17 化学教育の目的・生物教育の目的 7/21 理科実験の危険防止 7/28 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	30%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	1. 理科の授業を効率的に進めることができるようになった。 2. 「生徒の能力を引き出す」ことができるようになった。 3. 理科教育の目的・目標について具体的に述べることができた。 4. 楽しい理科の授業を実践し、学習指導案が書けるようになった。						
反省点	体育の授業の後で、疲れが出てくる時間帯であったが、すべての学生がとても真面目に授業に参加していた。						
来年度の計画	全員が、総合評価10点を付けてくれることを目標にしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価(10点満点)で9.7(12名回答)となり、全員が10点(8名)または9点(4名)を付けてくれた。個別の設問項目においても4.7～5.0(5段階評価)であった。						
履修登録者数	12 名	定期試験 受験者数	12 名	合格者数	12 名	合格率	100%